

経営管理科 2年B組

教科	商業	科目(単位)	ビジネス情報(2単位)	選択相手科目	情報処理
使用教科書	ビジネス情報 新訂版 (実教出版)				
授業形態	通常授業・分割授業・T T				

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※T T (チームティーティング)とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標 (高等学校学習指導要領による)

情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、情報を効率的に処理することの重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てる。

2 科目・授業の内容と進め方

- ・4月～6月末までは、ソフトウェアの活用を学び、資格取得も目指して実習中心に授業を進め、情報活用能力の育成を目指します。
- ・7月～1月中旬までは、情報通信ネットワーク、ソフトウェアの活用について進んだ学習を行い、情報活用能力の育成を目指します。
- ・1月末～3月までは、さらに高度な情報処理について学習します。

3 学習の方法

- ・文書作成ソフト(WORD)や表計算ソフト(EXCEL)を使用した学習が中心になります。休まず授業を受け、毎時間集中してください。学校の授業に集中すれば、努力は必ず結果としてついてきます。
- ・問題集を中心に学習していきますので、時間があれば毎日少しでもよいので復習をしてください。

4 課題・補習について

- ・各長期休業中には課題を出し、休業明けにはその内容のテストを行います。
- ・課題テストや定期考査等で得点が低い場合や実習の進度が遅れている場合には、補習を行います。

5 この授業で取得可能な資格 (検定試験)

- ・全商情報処理検定 ビジネス情報部門 2級・1級
- ・全商ビジネス文書実務検定 2級・1級

経営管理科 2年B組

教 科	商 業	科目(単位)	ビジネス情報 (2単位)	選択相手科目	情報処理
-----	-----	--------	--------------	--------	------

6 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	第1章 ビジネスと情報	1 情報化社会とビジネス 2 ネットワークとビジネス	行動観察 提出物 実技成績
5	第2章 情報通信ネットワークの活用	1 ネットワークの基礎 2 ネットワークの管理と構築 3 サーバ管理 4 セキュリティ管理	
6	第3章 表計算ソフトウェアの活用	全商ビジネス文書実務検定	前期中間考査
7		1 集計処理 2 オペレーションズリサーチの基礎 3 ビジネス計算 4 手続きの自動化	行動観察 提出物 実技成績
8	第4章 データベースソフトウェアの活用	全商情報処理検定 ビジネス情報部門 1・2級	
9		1 ビジネス情報とデータベース 2 データベースの利用 3 SQLの操作	行動観察 提出物 実技成績
10	全商ビジネス文書実務検定	後期中間考査	
11	第5章 ソフトウェアを活用したシステム開発	1 システム開発の基礎 2 アルゴリズムの基礎	行動観察 提出物 実技成績
12		全商情報処理検定 ビジネス情報部門 1・2級	
1		3 表計算ソフトウェアによる開発 4 データベースソフトウェアによる開発	学年末考査
2			
3			